

令和4年度 事業報告

社会福祉法人上牧町社会福祉協議会

今年度は令和2年度に上牧町と一体的に策定した上牧町地域福祉計画及び上牧町地域福祉活動計画(令和3年度～令和7年度)の初年度として計画の基本理念「人と人が手を取り合い、支え合い安心して暮らせるまちづくり」に基づき、住民や行政と協働で地域福祉の振興に取り組みました。

令和元年度末から続く新型コロナウイルスによる感染症予防の観点や増減を繰り返す感染状況にともなう関係者や住民の不安感などに配慮しながら、状況に応じて介護保険事業等直接介護サービスを除く各種事業の休止や縮小を行いました。

事業報告

基本目標Ⅰ 地域で顔の見える関係づくり

■ 1. 地域での顔の見える関係づくり

(1) 地域で支え合う意識づくり

① 住民座談会の開催

- ・第3期計画のモデル事業「気になる会議」の開催。
米山台(参加:自治会、民生、シルバークラブ、小地域ネット、役場、社協)
3回(9月、12月4日、3月5日)



- ・友が丘 自治会役員会にて小地域ネットワークの説明 11月5日

② 「社協だより」やホームページでの情報発信

- ・社協だより等の発行
お知らせ版:4月発行
社協だより:第75号(5月発行)、第76号(7月発行)、第77号(10月発行)
第78号(1月発行)
チラシ:9月(タウンカレッジ、手話講座)、2月(おひさま広場)
- ・ホームページの更新:随時
- ・公式ライン、Twitter、Facebookの更新:随時

(2) 地域での交流機会の充実

① 同じ仲間が集える場づくり

・カフェぷらっとを通じた障害者の交流

就労支援:2000年会館及び障害者福祉センターにおいて就労支援事業を実施。年間260日営業(喫茶営業なし36日含む)、通所者:10名(うち精神障害者1名、知的障害者9名)、延べ通所数1,754名、喫茶利用者数3,746名(販売会等は含まず)

出張販売による交流機会の創出:片岡台3丁目(隔週火曜日)、朝市への参加(毎月第1土曜日)、ヒューマンフェスティバル等(町外2回)、はたらく障害者フェア(奈良市)

通所者による高齢者等への配食:月水金の夕食 延べ144回、1,233食

通所者交流会の開催:年13回(毎月第2月曜日、5月GW)

通所者保護者会の開催:3月13日(上牧町育成会主催の「おしゃべり塾」の共催)



上牧町等との連携:ふるさと納税返礼品への参加、喫茶での黒カレー提供

・つどいの広場事業での母親同士のつながりづくり

サロンぽけっと 182回 延べ2,105名参加 気になる子延べ120名

※ワクチン接種の影響で月、火、水、金の開催(火、水は午前のみ)

ささゆりサロン(乳児対象) 46回 延べ177名参加 気になる子延べ8名

親子教室 3クラス30回 延べ684名参加

託児グループひまわりによる託児 54件(親子教室託児30件を含む)



・子育てサロンに参加しやすい環境づくり

0歳児を対象としたサロン(ぴよぴよサロン)の開催

親子でのベビーヨガを9月から毎月1回開催(7回、延べ124名参加)



・ひきこもり家族のつどいによる家族支援

障害者福祉センター和室を会場に家族のひきこもりに悩む家族がつどい、悩みを語り合うことで問題を一人で抱え込まず他者に相談したり互いに助け合えるような機会を提供することでひきこもり問題への支援につなげる。

ひきこもりの問題は地元では相談しにくいとの声も多くあることから香芝市社会福祉協議会とそれぞれの家族のつどいへの相互乗入れや互いに広報し合うなどの連携を行った。

月1回12回開催、延べ45名参加

・ひきこもり当事者のつどい開催による当事者の居場所づくり

障害者福祉センターにて月2回開催。

(ひきこもり家族のつどい開催時に同時開催。

毎月第3土曜日午後当事者のつどいのみの日。)

年2回季節のイベントを実施(9月1日、11月10日)

延べ20回、延べ92名参加



・ひきこもり当事者、家族への個別相談会の実施

ひきこもり家族のつどいに関わっている臨床心理士による個別相談会の開催。

年4回、17時から19時 各回2名、延べ8名

・子どもの居場所づくり事業「きらっと」の実施

奈良県子どものころと学びの支援事業を受託し、毎週土曜日に障害者福祉センターにおいて子どもの居場所づくり事業「きらっと」を開催。生活困窮や家庭環境など様々な暮らしにくさを抱える子どもに対して簡単な学習と遊びを提供。

※新型コロナへの感染予防のため軽食の提供中止、終了時にパン等を提供。

(きらっと:43回 延べ207名利用 ボランティア延べ55名

小学生6名、中学生2名 計8名

午後の部:43回 延べ76名利用 ボランティア延べ93名

中学卒業生19歳1名、中学生3名 計4名

※中学卒業生は無事大学受験に成功し、次年度より大学に通学予定
学校等との情報共有会 小中学校2回、福祉事務所1回)

②サロン等の居場所づくり

・サロン等の居場所づくり

小地域ネットワークによるサロン活動。町内15地区で活動する小地域ネットワークで高齢者に限らず多世代が参加できるサロンを新型コロナウイルス感染症予防に配慮しながら開催。



(3) 小地域ネットワーク活動の充実

① 小地域ネットワークの組織化支援

- ・社協だよりやホームページで随時小地域ネットワークの活動を紹介

② 小地域ネットワーク活動内容の充実

- ・小地域ネットワーク連絡会の開催
月1回ネットワーク連絡会の開催ネットワーク連絡会の開催。
- ・各地域の中で見えてきた課題の共有
各小地域ネットワークの活動や企画会議に職員派遣。
夏休み宿題サロンについては新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止。
※葛城台コミュニティーネットのみ寺子屋として開催



- ・研修会(中止)

- ・活動者の顕彰

奈良県福祉大会にて2名が奈良県社会福祉協議会会長表彰を受賞。



(4) 地域の見守り体制の強化

① 小地域ネットワーク活動による見守り助け合い活動づくり

(再掲載)

- ・友が丘 自治会役員会にて小地域ネットワークの説明 11月5日

② 気になる会議の開催

(再掲載)

- ・第3期計画のモデル事業「気になる会議」の開催
米山台(参加:自治会、民生、シルバークラブ、小地域ネット、役場、社協)
3回(9月、12月4日、3月5日)

基本目標Ⅱ だれもが地域に参加できる仕組みづくり

■ 2. だれもが地域に参加できる仕組みづくり

(1) 地域福祉を担う人材の育成と活動支援

① ボランティア活動の広報支援

- ・ボランティア情報誌「ちょぼら」の発行支援:活動自粛等により未発行

② 若い世代の活動支援

- ・奈良県福祉人材センターと協働で上牧中学校2年生へ福祉出前講座の実施
(キャリア学習:本会介護職員による福祉のお仕事説明
福祉体験学習:車椅子、アイマスク、高齢者疑似体験)



③ かんまきタウンカレッジの開催

- ・住民が福祉にかかわらず学び合い、集える場としてかんまきタウンカレッジを開催。
毎月第3土曜日 11回、延べ 232名参加

4月 手芸を楽しもう	5月 森鷗外と奈良五十首について
6月 「石川啄木」という人間	7月 夏休み子どもタウンカレッジ
8月 日本ミツバチ(中止)	9月 アロマオイル
10月 文学講座	11月 知られざる大和鉄道あれこれ
12月 お肌を健康に保つには	1月 朗読のすすめ
2月 石川啄木の短歌	3月 歴史散策「意外な上牧の史実」





- ・タウンカレッジからの派生

奈良散策 6月10日、17日

5月のタウンカレッジの派生として、森鷗外ゆかりの地を講師とともに巡る

読書カフェ 下半期より隔月開催 3回(10月、12月、2月) 15名

10月文学講座の派生として、定期的な文学サロンの開催

(2) ボランティア活動の推進	
	<p>① ボランティアコーディネート機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動に関心を持った人が気軽に相談し、活動に結ぶつようなコーディネートを行います。
	<p>② 上牧町ボランティア連絡協議会の活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上牧町ボランティア連絡協議会定例会の開催支援 年8回開催 ・町ボランティア連絡協議会及び加盟団体への活動助成の実施。 (共同募金配分金による助成 6団体 170,000円) ・ボランティア研修会の開催 12月13日 県外研修(滋賀県大津方面)
	
(3) 地域活動者への支援	
	<p>① 活動者のスキルアップ講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳トレ講座の開催支援 活動者向けの脳トレゲームリーダー養成研修の開催 支援(6月25日)
	
	<p>② 町内ボランティア同士の交流と連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア交流会の開催 ※新型コロナウイルス感染症の影響で中止。

基本目標Ⅲ 住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みづくり

■ 3. 住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みづくり

(1) 安心して福祉サービスが利用できる仕組みづくり	
	① 「社協だより」やホームページでの情報発信 (重複により省略)
(2) 地域の相談支援体制の充実	
	<p>① CSW(コミュニティソーシャルワーカー)の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校区ごとに担当職員を設置

②気になる会議の開催（重複により省略）

③小地域ネットワーク活動の充実（重複により省略）

(2) 地域ぐるみでの防犯・防災の推進

①災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

- ・上牧町災害ボランティアセンターの設置運営訓練の実施
住民・関係機関との協働による災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施。
（県内初となるICTツールを全面的に使用した訓練）
1月15日開催、約140名の参加。
講義:サイボウズ社 災害支援チーム 柴田哲史氏



- ・奈良県、県社協の主導する「ICTを活用した災害対応力強化検討会」への参加
県、県社協、3市2町社協（奈良市、大和郡山市、香芝市、平群町、上牧町）による検討会への参加。6月6日より毎週月曜日のミーティング及びICTを活用した訓練への参加等。
- ・災害時の社協マネジメント委員会への参加
県社協、4町社協（大淀町、平群町、斑鳩町、上牧町）によるBCP策定等。

②災害ボランティアセンターの設置・運営

- ・災害ボランティアセンターの設置・運営（該当なし）

・関係機関との連携等

法隆寺青年会議所との協定の運営

北葛城郡内社会福祉協議会災害時相互支援協定の締結（3月29日）



北葛城郡事務局長会主催の災害訓練への参加（10月16日）

奈良県防災プラットフォームへの参加 年6回

③災害ボランティアセンター運営スタッフ養成研修の開催

- ・令和元年度養成研修修了者と協働での訓練の開催。

(4)あらゆる虐待の防止と権利擁護の推進

①日常生活自立支援事業の充実

- ・奈良県社会福祉協議会との協働による地域福祉権利擁護事業の実施
利用者3名(うち1名は施設入所により契約終了)

②成年後見制度への移行支援

- ・成年後見制度への移行支援
地域福祉権利擁護事業利用契約者の判断能力低下に伴う成年後見制度への移行支援を実施。その他、現利用者の親族への制度説明及び弁護士との調整実施。

③同じ仲間が集える場づくり(重複により省略)

④その他

- ・生活福祉資金貸付事業の実施

12件 総額271.5万円

(教育支援資金4件 2,096千円、福祉資金4件 319千円

緊急小口資金2件 180千円、臨時特例つなぎ資金2件 120千円)

- ・コロナ特例貸付の実施

令和2年3月25日からのコロナ特例貸付が実施期間を延長し続けたため、令和4年9月30日まで継続。(受付は6月末日で終了)

相談件数69件 総申請数26件 申請総額955万円

小口資金 12件 235万円

総合支援資金 14件 720万円

※参考(トータル)

相談件数1,626件 総申請数670件(却下9件) 申請総額28,095万円

小口資金 227件 4,440万円

総合支援資金 208件 11,235万円

総合支援資金延長 101件 5,565万円

総合支援資金再貸付 125件 6,855万円

- ・コロナ特例貸付の申請者への継続支援

北葛城郡内4社協の担当職員会議の開催 毎月

北葛城郡内4社協及び県社協と共催による償還説明会の実施

郡内4ヶ所を巡回

(7月3日 上牧町、7月13日 広陵町

7月17日 河合町、7月25日 王寺町)

内容:令和5年1月から開始する借入金の償

還に向けての説明会、同時に県中和

吉野自立サポートセンターによる就

業相談、食糧支援も実施。

合計 29名参加



いろいろ相談会の実施

償還説明会終了後も個別に電話相談や書類の未提出が多数見られたことから、困りごとを何でも相談できる説明会を北葛城郡内4社協で共催。
令和5年2月8日 王寺町リーベル

フードパントリーの実施

子育て中の困窮世帯に対し、全国社会福祉協議会の助成金を利用して小地域ネットワークとの協働で実施。令和3年度と異なり17時～19時で配布。
9月9日 2000年会館ゲートボール場 64名に配布



※上記の取り組みは、全国社会福祉協議会発行の『コロナ特例貸付をつうじた支援 社会福祉協議会の実践事例集』及び地域福祉推進委員会発行の『ノーマ 社協情報』に掲載されました。(別添参照)

■4. その他の事業

(1) 会務の運営

① 理事・評議員会の開催

- ・理事・評議員会の開催
理事会2回(令和4年5月、令和5年2月)
評議員会2回(令和4年6月、令和5年3月)

② 監査の実施

- ・会計、事業監査の開催 年3回(第1・2四半期、第3四半期、第4・決算監査)
- ・奈良県指導監査

(2) 介護事業等の実施

① 介護保険事業等の実施

- ・訪問介護事業の実施
(身体介護1,486回 1,015時間8分 身体生活78回 141時間15分
生活援助795回 764時間15分 介護予防442回 343時間19分)
- ・居宅介護支援事業の実施
(ケアプラン作成637件 予防プラン作成283件 認定調査56件)

②障害福祉サービスの実施

・居宅介護等の実施

障害児者への訪問介護事業の実施。

(居宅介護:554回 586時間 重度訪問介護:265回 894時間
 同行援護:209回 387時間 身体介護:5回 4.5時間
 通院介助:22回 58時間 合計:1,055回 1929.5時間)

・移動支援事業の受託実施

障害児者への余暇活動等社会参加のための移動支援。(148回 233.5時間)

・地域相談支援事業の実施

障害福祉サービスの計画作成とモニタリング。(28名 延べ56件)

・就労継続支援事業B型の実施 カフェぶらっと等の運営。

利用登録者	10名(知的障害者9名、精神障害者1名)
通所者数	延べ1,754名(一日平均6.7名)
営業日数	224日 (一日あたり売上約13,544円)

③その他

・有償福祉サービス ぴっころの実施

12名 延べ261回 318時間25分の訪問

・理髪サービス事業の受託実施

寝たきり状態で自身で散髪に行くことが出来ない高齢者に年2回を上限に訪問理美容を行う。 利用登録者11名 延べ15回

・日常生活用具の貸与事業の実施

介護保険非該当者等への車いす等の貸し出し。
 車いす 月200円 10回

・地域福祉権利擁護事業の実施

利用者 3名(1名は施設入所により終了 年度末2名)
 延べ支援回数 19回 延べ支援時間 25時間(担当職員の訪問数は除く)

・フードレスキューの実施

奈良県社会福祉協議会より食品を預かり、困窮状態等で困っている人に3日程度の食品を配布。
 延べ12件(県社協制度3件、町社協独自9件)

(3)募金活動及び団体事務

①募金活動の実施

・共同募金活動の実施

自治会戸別募金、大口募金(郁慈会、奈良友誼会病院、上牧町商工会)、街頭募金(10月3日:おくやま、11月3日:ペガサスフェスタ)、学校募金(町内小中学

	<p>校)、募金箱、自販機 合計1,555,348円</p> <p>・日赤社資募金の実施 自治会戸別募金(2,079,960円)</p>
	<p>②団体事務の実施</p> <p>・団体事務の実施 共同募金会、日本赤十字社、上牧町遺族会、身体障害者協議会</p>
(4)その他	
	<p>①指定管理事業</p> <p>・2000年会館、障害者福祉センター、ほほ笑みサロンの管理</p>
	<p>②広報事業</p> <p>・広報による社協活動の周知 社協だよりの発行(年4回 4月、7月、10月、1月発行) ホームページによる迅速な事業報告及び情報公開 (法人現況報告書、事業計画及び予算、事業報告及び決算、社協だよりを掲載)</p>
	<p>③その他受託事業</p> <p>・手話通訳窓口設置事業 毎週木曜日13時～16時まで手話通訳者を社協事務所に配置し役場での手続き等の通訳を実施。 通訳者2名を非常勤職員として雇用。シフト制により1名が出勤。 46日 143件</p>